

第1回大田区交通政策基本計画推進協議会 議事要旨

日 時	平成 28 年 8 月 26 日（金）13 時～15 時	
場 所	大田区役所 2 階 201・202 会議室	
出席者	外部委員	<p>23 名中 21 名出席</p> <p>屋井委員（東京工業大学大学院 総合理工学研究科教授）、清水委員（首都大学東京大学院 都市環境科学研究科教授）、小山委員（大田区自治会連合会会長）、平澤委員（大田区商店街連合会会長）、田中（常）委員（大田区観光協会会長）、塩ノ谷委員（東日本旅客鉄道株式会社東京支社 総務部企画調整課長）、小里委員（東京急行電鉄株式会社 鉄道事業本部企画課長）、竹内委員（京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部鉄道統括部長（代理 森田調査役））、高木委員（東京モノレール株式会社 建設計画部課長）、依田委員（東急バス株式会社 運輸事業部運輸課長（代理 原山課長代理））、鬼頭委員（京浜急行バス株式会社 経営企画部長（代理 藤森課長補佐））、熊田委員（公益財団法人東京タクシーセンター施設管理課長）、古舘委員（国土交通省東京航空局 東京空港事務所総務部長）、三條委員（国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所交通対策課長）、谷崎委員（東京都都市整備局 交通企画課長（代理 岩崎係長））、高橋委員（警視庁蒲田警察署交通課長）、飯島委員（東京湾遊漁船業協同組合理事長）、中村（文）委員（東京都京浜島工業団地協同組合連合会専務理事）、堀委員（株式会社スペース・クリエーション一級建築事務所代表取締役）、田中（一）委員（大田区議会議員）、大橋委員（大田区議会議員）</p>
	大田区職員	<p>13 名中 12 名出席</p> <p>荒井委員（都市基盤整備部長（代理 鈴木都市基盤計画調整担当課長））、黒澤委員（まちづくり推進部長）、山田委員（企画経営部企画課長（代理 谷口財政課長））、須川委員（地域力推進部地域力推進課長）、中村（純）委員（観光・国際都市部観光課長）、青木委員（福祉部福祉管理課長）、酒井委員（福祉部障害福祉課長）、杉村委員（こども家庭部子育て支援課長）、保下委員（まちづくり推進部都市計画課長）、浦瀬委員（まちづくり推進部空港臨海部調整担当課長）、大木委員（まちづくり推進部都市開発課長）、武藤委員（まちづくり推進部地域整備担当課長）</p>
	事務局	まちづくり推進部都市計画課
傍聴人	1 名	

開会

1. あいさつ

2. 大田区交通政策基本計画の目的・位置づけについて

「資料1 大田区交通政策基本計画の目的・位置づけ」の説明

3. 協議会の目的、検討体制

「資料2 協議会の目的、検討体制」の説明

4. 委員委嘱

委嘱状の机上配布をもって、委嘱にかえる。

5. 会長及び副会長の選出

【事務局】

続いて会長の選出に移らせていただきます。要綱第4条第2項で、「会長は、協議会委員の互選により選出する。」とございます。会長のご推薦がありましたらお願いいたします。

【清水委員】

やはり中立な学識という立場、さらに大田区交通政策基本計画推進有識者会で座長を務められている、屋井委員が適任かと思いますがいかがでしょうか。

(一同拍手)

【事務局】

清水委員から屋井委員のご推薦がありました。いま拍手をいただきましたので、屋井委員、会長をお引き受けいただけますでしょうか。

【屋井委員】

大変僭越ではございますけれど、引き受けさせていただきます。

【事務局】

ありがとうございます。屋井委員が会長に選任されました。それでは、屋井会長、会長のお席にご移動をお願いいたします。

続きまして、副会長を選任したく存じます。要綱第4条第3項にて会長が副会長をご指名いただくことになっております。屋井会長、ご指名をお願いいたします。

【屋井委員】

本会には、大学から2名参加させていただいております。首都大学東京の清水委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(一同拍手)

【事務局】

ありがとうございます。屋井会長から清水先生のご指名がございました。清水先生、お引き受けいただけますでしょうか。

【清水委員】

ただいま副会長に指名いただいた清水でございます。精いっぱい務めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひ致します。

【事務局】

ありがとうございます。それでは、清水先生、副会長の席までご移動をお願い致します。

それでは、本協議会の会長及び副会長が決定いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、次第の議事進行につきましては、この後、屋井会長にお願いしたいと存じます。よろしくお願ひいたします。

議事

【屋井会長】

会長にご指名いただきました。これから2年間になりますが、よろしくお願ひしたいと思います。

先ほど事務局からもお話がありましたが、工程上、有識者会というものを先行して議論を進めさせていただいているところでございますが、協議会の役目、これが一番間違いなく大きな役割になっていきます。

冒頭ということで一言だけ申し上げると、この時代に改めて作る交通の基本的な総合計画ですので、行政のいわゆる行動指針だけを定めて行くようなものではなく、関係される方々、機関、団体、区民の方々が、一緒になって取り組んでいけるような、実効性のある計画としてつくられていくことを大いに祈念しています。

1. 区交通の課題

「資料3 区交通の課題」、「参考資料1 区交通の現況」の説明

2. 有識者会の検討内容

「参考資料2 有識者会の検討内容」の説明

(議事1、議事2についての意見交換)

【屋井会長】

参考資料1では現状と課題がありました。そういったものも踏まえながら、資料3では、区交通の課題を、今の段階で一定程度は整理してみたということでございます。いろいろな面で抜けているところ等もあると思いますが、ご意見やご質問をいただきたいと思ひます。

それでは、みなさんがお考えいただいている間に、私から簡単な質問を一点させていただきます。

先ほどの参考資料の1-3ページに、道路の関係が出ています。混雑率が大きく下がっているところがあります。環八の田園調布や、産業道路の大森の辺りなどで大きく下がっていることについて、理由や原因などで何か思い当たることがあれば、お教えいただきたいと思います。

【三條委員（国土交通省関東地方整備局）】

環八のところでは、蒲田の立体ができたり、最近では首都高ができたり、東京港トンネルなどもできて、動き方が大きく変わって、空いてきていることはあるのかもしれませんが。

ただし、国道15号ではまだ拡幅のところが残っていたり、国道357号と国道15号を結ぶところが弱かったりと課題が残っていると認識をしています。そのようなところは、今後改善していきたいと思っています。

【屋井会長】

少しデータが古いので、即近のデータも含めて、多少見ておいていただけると良いと思います。あるいは事務局でなくても、関係部局にお願いするというだけでもよいと思います。

【平澤委員（大田区商店街連合会）】

資料をお作りになった方々から見た重要ポイントを挙げていただいて、それに向かって我々も意見調整していくのがベターなのではないでしょうか。どの辺が一番重要だと考えられているのですか。

【屋井会長】

第1回目ですから、もう少しいろいろな方の意見も聞きながら、方向性や重点的なポイントを明らかにしていければと思います。

その辺りについては、実は、先ほどの資料3の2枚にとりまとめてあります。そのため、この資料に対して、「本当にこれだけでよいですか」という視点で見ていただくとよいのかもしれませんが。

【田中委員（大田区観光協会）】

資料3の課題から言うと、この中の課題に、「羽田空港の再拡張・国際化に合わせて」と出ているのですが、再拡張といったようなことについて、何か具体的に考えているのでしょうか。言い回しが悪いのではないかと感じます。

それから、広域的な道路や新空港線についてどう考えているのか、もっと整理をする必要があると思います。広域的には外かく環状をどうするのか、また、「エイトライナー」という言葉が出てきていますが、現実的な話として取り上げているのか。

また、都市計画道路をどうするのかということについて何も書いていませんが、どう考えていったらよいのか。

それから、京急の高架や蒲田の踏切がなくなったのですが、まだ踏切がたくさんあります。鉄道で東西が分断されているところがまだたくさんあります。そういうところをどうするのか。

また、資料3の中で、「平地部」という言葉が出てきますが、平地部ではないところもかなり問題です。高低差のあるところについて、課題があると思います。コミュニティバスなどを議論しているはずですが、ここに出てきていません。

そのほか、いろいろと思いつくところはあるのですが、まず課題をもう少し整理する必要があると思います。

【黒澤委員（まちづくり推進部長）】

資料3が非常に概括的で「これだけでよいのか」ということになってしまいました。今日はシンプルな資料でお出ししているのですが、課題については、宿題とさせていただきたいと思います。

例えば、外環道については、東名以南の部分について、国の方で今年検討の会議体を初めて動かしました。大田区では、まだ具体の評価をしておりませんが、そのような課題が動き出したという認識は持っております。

都市計画道路につきましては、平成28年3月に東京都と区市一体での今後10年間の優先整備計画が完成しました。この部分も入れていきたいと思います。また、優先整備路線以外をどうするのかという課題も、入れていきたいと思っております。

【事務局】

エイトライナーにつきましては、交通政策審議会の198号の答申で、今後、中量軌道等の導入や需要予測について、関係者で整理検討することを期待するということになっています。エイトライナーの協議会に大田区も入っており、そちらで話し合いをさせていただいているところです。それも踏まえて、こちらに反映できればと考えております。

また、課題としてこれに入れていくかどうかについても、今後検討させていただきたいと思います。

【屋井会長】

すごく適切なお意見をいただきました。まだ今日は本当にたたき台ですので、ご意見も踏まえながら、どんどんバージョンアップをしていきたいと思っております。

【平澤委員（大田区商店街連合会）】

JRで、田町・品川辺りが開発されて、あそこを出発点に、空港にダイレクトに線路ができるようなことを聞いているのですが、その辺の打診はないのですか。

【黒澤委員（まちづくり推進部長）】

今、平澤委員からお話があったのは、いわゆるJR新線です。既存の貨物線を利用してJRさんが3つの空港アクセスの計画を発表しました。それについて、新空港線と同様に、4月20日に国の答申で一定の評価が出ています。JRの動きも含めた様々な空港アクセスに関する情報・課題を盛り込んでいきたいと思っております。

【塩ノ谷委員（東日本旅客鉄道株式会社）】

JR東日本の塩ノ谷です。今、ご説明いただいた通りなのですが、こちらは答申には入れていただきましたが、弊社の中でもまだ構想段階というところから出ておりませんので、まだ正式に大田区さんと協議をしている段階ではございません。また必要な情報についてはやりとりさせていただきたいと思っております。

【屋井会長】

なかなか堅めの発言が出ましたが、このあたりのことは、おおらかに入れていく方がよいと思います。

【田中委員（大田区観光協会）】

今日の説明の中にはなかったのですが、港湾について、もう少し旅客を受け入れられるのかどうか。また港湾の施設に対しても、待機車が問題になっていると言われていています。その辺を課題として考えなければいけないと思います。

【黒澤委員（まちづくり推進部長）】

臨海部の港湾の関係の取り組みは、東京都が第8次の港湾計画を作りましたし、三港連携といった動きも進展して、大田区的には今、田中委員もおっしゃった通り、台切りシャーシによる空港臨海部の幹線道路の走行制御の問題などたくさんあります。東京都さんが取り組んでいただいている部分もありますが、地元区としても、より一層、しっかりと臨海部の交通環境の改善に取り組むことは課題だと認識しております。

【清水副会長】

今の議論を伺っていて、ご発言があったのは、商店街や観光という、人にたくさん来ていただきたいという立場のご発言だったと思います。

一方で、住民の立場で言うと人が多くなってくると起こる問題があると思います。そのため、このような問題を整理するときは、「人に来てもらうということをどのように計画でよくするか」という話と、それによって「人が集まりすぎて困ってしまうことをどうするか」という整理をする必要があると思います。

また、昔からこのような交通計画の話は、どうしても「このようなハードの整備をします」というリストが入る傾向にあると思います。今回はどちらかという、そのようなもの大事なのですが、もう少しソフトというか住民パワーとしてどうするか、使い方の工夫などみんなで気をつけることで対応できないか、ということに軸足というか力点がある計画に見えます。

逆に言うと、あまりハード系のものを入れていないようにも見えますので、この協議会として、計画の方向をどうするかということは、きちんと議論した方がよいと思います。

【田中委員（大田区観光協会）】

今のお話しはすごく重要だと思います。この課題の中に、もう少し今おっしゃったようなことを入れるのか、それとも別の話とするのかを、とりあえず整理しないと先に行かないと思います。

【屋井会長】

後で議題になりますけども、広く区民の方々にも、いま感じる課題や将来に対する不安などをお聞きする機会を想定しています。その中で、課題も明らかになってきますし、共有もして、計画の中身もだんだん出てきます。

課題はまだ増えてくると考えていただいて、増える機会は今回だけではないということもご理解いただいた上で、どんどん出していただければと思います。

また、この会のメンバーについても、必要があればもっと多くの方に関わってもらうことも考えられ

ます。

3. 区民アンケート調査計画（案）

「資料4 区民アンケート調査計画（案）」の説明

4. 今後の予定

「資料5 今後の予定」の説明

（議事3、議事4についての意見交換）

【屋井会長】

それでは、プロセスも含めてご意見があればお願いします。いろいろ見直しをしながら、検討をしていけばよいと思いますが、当面は2年間でやっていきたいと思います。

次回の協議会は12月ということなので、その間にアンケートを行います。そのため、今日ご意見をいただいて、後は持って帰ってじっくり見ていただき、後でご意見を事務局にいただくという、2段階でご意見をいただきたいと思います。

今回の計画では、行政だけが頑張っても解決できない問題が数多くあります。事業者さんや団体さんのご協力だけではなく、区民の方のご協力も必要です。このメンバーだけで作って「これがよいだろう」という計画を仕上げてしまっても、なかなか区民の方々はついて来られないということもあると思います。

そのため、できるだけこのような取り組みをやっていること自体を知ってもらって、途中でご意見をいただく機会を作り、いただいた意見も踏まえながら進められればと思います。もちろん全部反映することはできませんが。

実際に実行する段階で、「こういう点についてもぜひ協力して下さい」と言わなければならない場面や、「この部分は頼みます」という場合も出てくると思います。いろいろなことを議論してうまく取り込みながら計画を作っていくことで、そういうことをできる体制を作りたいです。

そのようなことがうまく表現できていないかもしれませんが、プロセスについても改善していただければよいと思います。区民説明会等の開催も、できるだけ早いうちにしてもらいなども必要かもしれません。

そのような中で、アンケートは、区民の方々のバイアスのあまりかかっていない意見を拾いやすいという性格を持っていますから、課題などを抽出するときには早い段階で比較的使う方法です。これをまずやってみたいということです。

2回目については、もう少し議論しながら、どういう位置づけでというのをはっきりさせていきたいと思っています。

【田中委員（大田区観光協会）】

区民アンケートを行うのは良いと思いますが、コミュニティバスのときにも同じような調査をしていると思います。それも一緒に吟味したらよいのではないのでしょうか。

もう一つ私が気になるのは、観光振興につながるようなアプローチもどこかでやっていただけるとありがたい。例えば、観光協会では、観光業者にヒアリングをしました。そうすると、やはり大型バスが

入っていけないとか、駐車ができないとか、案内表示が、という意見が出てきています。何らかの形で、観光という視点でのヒアリングなどもやっていただけるとありがたいです。

【事務局】

観光について、確かにそういう視点でお話を聞くのは大事かと思います。今回も10ページのところに、観光についてという設問を設けさせていただいております。そういった事業者についても聞き方について検討していきたいと思います。

【田中委員（大田区観光協会）】

観光事業者なり、観光に関係のある人にヒアリングをするとよいのではないのでしょうか。

【事務局】

事業者の方々から聞くことについても、考えていきたいと思います。

【中村委員（東京都京浜島工業団地協同組合連合会）】

資料3を見ていただきますと、空港臨海部地域に住人はいないです。そうなりますと、アンケートで、この空港臨海部地域に関する意見は、すごく少なくなってしまう。その際に、どうやってフォローしていただけるのかを、この地域に携わる者としては心配しております。

【事務局】

先ほど観光のところでお話をいただいた通り、人が住んでいない地域について、お聞きする必要がございます。事業者の方々へのヒアリングについて、どうやったらよいかということも含めて、検討していきたいと思っております。

【屋井会長】

それはやらなければいけないですね。それがヒアリングでよいかどうか。ヒアリングは大切なのでやっていただいてよいのですが、アンケートのようなバランスの取れる方法もあると思いますから、ぜひ検討していただきたい。

大田区さんは、下町ボブスレーの話がありましたが、伝統と歴史があって、力も強いわけですから、そういう産業系にご意見を聞くのは、ぜひあってよいと思います。

【清水副会長】

前にも、個別にはたぶん申し上げたと思うのですが、区では既に関連する調査がいろいろあるはずで。そういうものも活かすとよいと思います。このアンケートですべて聞くのはたぶん無理です。

そのため、この1回目のアンケートでは、広く市民にどういう施策範囲を重要と思っているかを、その人の属性別と地域別で粗っぽくつかむ。あとは、まっとうなやり方ではわからないようなニーズを把握する。おそらくこの2つくらいが目的ではないでしょうか。先ほどあったような、例えば人が住んでいない地域をどうするかというのは、アンケートというよりは別なやり方があるのではないのでしょうか。

とにかく、関係しそうなことは落とさないということと、かつて行われたものは有効に使うという、この点を徹底すればよいと思います。

【事務局】

別途行われているアンケート調査も活用していきたいと考えております。

この後、ご意見等がございましたら、9月2日までに事務局までご連絡いただきたいと思います。いただいたご意見を事務局で調整したうえで、アンケートの中身を固めていきたいと思っております。

【屋井会長】

今の清水先生のお話から言うと、観光について「道を聞かれることはありますか？ある場合、聞かれた目的地はどこですか？」とありますが、これは要らないですね。

【清水副会長】

ほかのやり方はあります。必ずしも、ここでなくてもよいと思っております。

【屋井会長】

先ほどのニーズについては、今、生活をしていたり、仕事をされていたり、いろんなところに行かれていたりして、何が困っているとか、将来に向けてどんな心配があるとか、あるいは困っている人を見たとか、困っているのだからこうしたほうが良いのではないかと、という現状をきちんと拾い上げたいですね。

スタートなので、「皆さんどうですか」とまず聞かなければいけません。あまり先走ったところまでいかななくてもよいと思っております。

【平澤委員（大田区商店街連合会）】

それぞれの地域に住んでいる人によって、問題点が違うと思っております。ですから、アンケートについても、相反するような意見も地域的には出てくるかもしれません。

正直、私は商店街代表で出ていますが、アクセスが良くなると、買い物に中央は取られます。商店街としては、交通が良くなると、その地域で買い回り商店として存続していた価値が失われてしまうというのも事実です。ところが、アクセスが良くなれば地価が上がって資産が上がります。逆に言えば、税金が高くなるという部分もあります。そのようないろいろな面を検討していかなければいけないのではないかと思っております。

【屋井会長】

おっしゃる通りで、この会のメンバーもいろいろなお考えや価値観を持っています。大田区さんといっても広いので、いろいろな地域、いろいろな方々がいらっしゃる中で、いろいろな違う意見が出てくるでしょう。そのようなことをできるだけ多く取り上げていって、その中で、最終的にある種の方向性のようなものを作っていくこととなります。そのためのプロセスが、今始まったとお考えいただければありがたいと思っております。

もうほかはよろしいでしょうか。1回目なので、ご意見をいただく機会として、一言くらいいただくかどうかを、今、判断を迷っているところです。せっかくの機会ですから、では東急さん、電鉄さんの立場で、この始まった取り組みに対する期待など何かあれば、大変ありがたいです。

【小里委員（東京急行電鉄株式会社）】

東急電鉄の小里でございます。大田区内には当社の鉄道網が走っておりまして、大田区にお住いの皆さま、地元の方からもいろいろなご意見をいただいております。このような先々を見据えた交通の基本計画を作るところで、鉄道事業者として何か協力できるのであればと感じております。

先ほど、副会長からお話がありましたが、ハード整備ということだけではなく、既存のストックの中で、例えばソフト施策、運行計画を見直して利便性を高めるとか、鉄道だけではなく、鉄道とバスの乗り換え、利便性を高めるとか、もっと選択肢を増やして利便性を高めるとか、様々な方法があると思います。この場にお集まりの皆さまからいろいろな意見を聞く中で、当社が協力できて、それが地域の発展に資するようなことであれば、ぜひ前向きに取り組んでいきたいと思っております。

【森田委員（京浜急行電鉄株式会社）】

京急電鉄森田でございます。いま東急さんからお話がありましたが、基本的な考え方は同じでございます。この会の中で、いろいろな議題が出てくるかと思っておりますが、私どもが交通事業者として協力できるところ、開発に関連するようなどころも一部出てくるかもしれませんが、そのようなどころも含めて、ご協力できるところについては前向きに検討していきたいと考えております。

【高木委員（東京モノレール株式会社）】

東京モノレールの高木でございます。モノレールの駅は 11 駅ございますが、大田区には実は 8 駅ございまして、ほとんどは大田区さんのエリアに駅があるという状況です。当社も同じように、沿線の魅力の向上ということでは、非常に協力をさせていただきたいところでございます。バリフリなども順次行っておりますし、先日、無料 Wi-Fi も全駅全車両でということで発表させていただきました。ぜひご協力できるものは、ご協力させていただきたいと考えております。

【原山委員（東急バス株式会社）】

東急バスの原山と申します。先ほど資料のご説明でもありましたが、当社のバス路線は京浜東北線の西側を走っておりまして、駅で言いますと、蒲田駅、池上駅、大森駅、といった駅を発着する路線も多く走っています。一方で、今後、高齢化がどんどん進んでいって、今あるこの路線網、このサービスが良いのかということについて、今後見直していかなければいけない部分もあるかと思っておりますので、こちらの会でいろいろ勉強させていただいて、できることは反映させていければと思っております。

【藤森委員（京浜急行バス株式会社）】

京浜急行バスの藤森でございます。東急さんがおっしゃったまさしく反対で、東急さんが線路の西側、私どもが東側、羽田空港の限界ぎりぎりを運行させていただいております。西と東を結ぶのは、JRさんの線路がありまして、道路がつながっているところもあるのですが、なかなかハードルが高いため、今はつながっていないのが現状でございます。この会に参加させていただきまして、いろいろ勉強させていただきたいと思っております。

【熊田委員（公益財団法人東京タクシーセンター）】

東京タクシーセンターの熊田と申します。タクシーの方は、ほかの交通の便が良くなってきましたので、最近右肩下がりになっているのが現状でございます。今後とも協力させていただきたいと思

ます。

【古館委員（国土交通省東京航空局 東京空港事務所）】

東京空港事務所から参加させていただいています。空港はオリンピックに向けて機能強化ということで、これから離発着回数を増やそうという施策を進めているところです。これから増える外国人旅客の方たちを、いかに大田区さんの方に回すかというところで、もう一つ大田区さんの方でやっておられる観光推進連絡協議会にも参加させていただいています。うまくつないで、何か協力できることがあればと思っております。

1点、質問をよろしいでしょうか。資料3の課題なのですが、先ほどもお話がありましたが、大森地区と蒲田地区のところに羽田空港の再拡張と国際化という言葉が出てきます。蒲田地域の方は今までやった再拡張と国際化にあわせてというふうにも読めるのですが、大森の方は、再拡張と国際化を視野に入れたと書いてあるのですが、再拡張の話は、どこかで出てきたのでしょうか。

【事務局】

資料3の大森地域の課題として書いておりますが、具体的な地域特性の中身は、現状よりも若干前の状態が書いてあります。大森と空港とのアクセスなどが課題として挙がってくるのではないかと考えているのですが、まだ深堀していない状況です。いろいろ課題を出していただければと思っております。

【古館委員（国土交通省東京航空局 東京空港事務所）】

再拡張を視野にとすると、まるで羽田空港を再拡張するようなので。

【事務局】

過去のことでございますので、課題として削除させていただきます。

【屋井会長】

今まで視野に入っていないくて、どんどん羽田空港は再拡張も国際化もされていったのですが、大森はそこから取り残されているというイメージでしたら、理解は可能です。

【三條委員（国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所）】

東京国道事務所の三條と申します。道路につきましては、整備が少しずつは進んでいますが、まだ交通不便なエリアがあるという資料もございますし、課題は多いと思っております。ネットワークの整備を進めていけるように、この計画に入れていきたいと思っております。

私の担当としましては、そのほかに自転車道の通行空間整備やバリアフリーも担当しております。そのようなところがこの計画に反映できればと思っております。

【小山委員（大田区自治会連合会）】

資料3-2 ページの移動支援ですが、「前に7団体ありました」と書いてあります。それがなぜ現在2団体に減ってしまったのでしょうか。理由をお聞かせいただければと思っております。

【青木委員（福祉部福祉管理課長）】

福祉管理課長の青木と申します。確かに、平成 18 年の 9 月 30 日に 7 団体あって、今は「ばんぶきん」と「はせさんず」という 2 団体になっています。いろいろな理由がございます。例えば採算性が合わなかった、ドライバーの確保が難しかった、また、その活動の団体自体の性格が変わってやめた、というところもございました。

福祉有償運送の団体が減ったため、全体の運送回数が減ったわけではありません。平成 21 年度、4 団体あったときの運送回数は 5,493 回ですが、去年は 2 団体ですが 6,888 回となっています。いま 2 団体の方が非常に頑張っていると思います。団体が減ったということで、福祉有償運送という部分では頭打ちというところはあるのかもしれませんが、しかし、新たに参入したいと言う声が皆無というわけではなく、お問い合わせをいただくケースもございます。

【岩崎委員（東京都都市整備局）】

東京都都市整備局の岩崎と申します。本来、私の上司の谷崎という者が出席するべきだったのですが、どうしても所用がありまして私が代理で出席させていただいております。今日の議論等も含めまして、持ち帰りまして上司の方には報告させていただきまして、第 2 回、第 3 回、また来年度についても、積極的に参加させていただければと考えております。

【飯島委員（東京湾遊漁船業協同組合）】

東京湾遊漁船業協同組合の飯島と申します。釣り船と屋形船の組合です。参考資料の 1-7 ページに水上交通というのがありますが、オリンピック・パラリンピックに向けて、東京都も 9 月 12 日から周遊実験を開始します。海老取川自体も、東京都が浚渫しまして航行しやすくなっていますし、天空橋の棧橋のほか、大田区は今後ほかのところも考えているようですから、オリンピックで観光客をどうやって船に乗せるかというのが一つの課題だと思っています。

【中村委員（東京都京浜島工業団地協同組合連合会）】

羽田空港の隣の埋め立て地、京浜島というところの、工業関係の団体の専務理事をやっております、中村でございます。皆さんは総論っぽく話されますが、どうしても地域のことを考えてしまいます。参考資料の 1-3 ページの道路の混雑状況について、古いデータだからという話がありましたが、我々のそばを通る、国道 357 号に環七との立体交差ができました。そして、今年の 3 月 24 日に国道 357 号がお台場の方から大井まで海側がつながったのですが、ものすごく渋滞しています。それによって、かなり影響が出ております。我々だけではなくて、近くの島、臨海部の協議会でも話は出ているのですが、なかなかこれといったものが出てきてないのが現状です。道路の施策はいろいろあると思いますので、考えていただければと思います。

特に、我々もそうですし、京急バスさんが、あの場所で大変なことになっているはずなので、その辺、いろいろ一緒に考えていければと思います。

【堀委員（株式会社スペース・クリエーション一級建築事務所）】

私は、旧東海道の商店街の活性化に関わって、いま 8 年目になります。ご存知のように、国道 15 号の一本裏側、平和島の裏側はまさに昔の東海道です。品川からずっとつながっていて、品川の方はだいぶ活性化してきています。大田区の方は 8 年前にお声をかけていただいて 5 年前に第 1 期の商店街の景観整備をさせていただいています。

ですから、先ほど平澤会長が商店街の立場でいろいろと発言をしてくださいましたが、私の方は、むしろこれから、また平澤会長にいろいろとご相談していきながら、旧東海道のまちづくりをしていきたいと思っております。

そういう意味では、例えば、商店街だけのことを見れば商店街の活性化のためにどのような交通体系にすればよいかを考えればよいのですが、一方では、平和島のまちづくり協議会、これは商店街だけではなく、住民の方や、一部、町工場の方たちもいらっしゃいます。そういう方たちのバランスをどうとっていくのか、交通体系によって、一方では改善すると言いながら、一方ではそうでない面もあるのかもしれない。そういうバランス感覚も少し頭に置きながらこの協議会に関わらせていただきたいと思っております。

【田中委員（大田区議会議員）】

議会から2人、大田区議員として参加させていただいております。広域的な交通政策をどうするかという部分と、国道357号の話が出ましたが、長年の大田区の課題の一つである国道357号が着工するというので、大変喜んでおります。そういうことも含めて、これからも少しでもお役に立てる部分があれば、ご提案をさせていただきたいと思っております。

【大橋委員（大田区議会議員）】

区議会議員の大橋と申します。先ほど、臨海部の方からもお声がありましたが、なかなか住まわっていない、しかし、雇用されている人数はものすごい数の方々がお仕事をされていて、物流も本当に多く動いております。そういうところの声もしっかり聴いていただきたいと思っております。

臨海部をずっと回っていると、以前はかなり静かな時期もあったのですが、今、またすごく音も大きくなってきております。そういう景気の動向に対しても車の動き、交通が変わってきますので、その辺の取り組みもしっかりお願いしたいと思っております。

また、バリアフリーの問題は、鉄道事業者さんも本当に積極的に取り組んでいただいております、感謝しております。ただし、まだバリアフリーについて区民からたくさん声をいただいております。今後も、この会で必要であればご意見をさせていただきたいと思っております。

【屋井会長】

第1回ということもありまして、皆様から様々な意見をいただきました。重ねて最後に何かご発言があるようでしたらお受けします。よろしいですか。

はい、どうもありがとうございました。それでは、これで議事はいったん終わらせていただきます。先ほどの調査票に関しては、時間の関係もあって、9月2日までに連絡をいただきたいということですが、その後、おそらく最終稿を作るのにまた時間が限られているので、皆さんに確認していただく時間はあまりとれないと思っております。ただし、こうなりましたというのはお送りできると思っております。

最終稿については、申し訳ないですが、意見をいただいた後に、私と清水先生とで事務局と相談して決めさせていただきたいのですが、よろしいでしょうか。

（特に異議なし）

それでは、今回はそうさせていただきます。短い時間で恐縮ですが、ぜひご意見をいただければ

大変ありがたいと思います。よろしく申し上げます。

閉会

【事務局】

アンケートについてのご意見は整理をさせていただきます、会長、副会長と協議して固めさせていただきます、結果を後日送付させていただきます。

次の協議会は、12月13日火曜日の午前10時から12時を予定してございます。

次回は、今回のアンケート調査の報告と、第2回のアンケートについての議論、今回いただきました様々な課題などのご意見を踏まえた、将来の交通のあり方と交通施策について、事務局の方で整理させていただいたものをもとに、またご議論をいただければと思っております。

以上を持ちまして、協議会を閉会させていただきます。本日はお忙しいところありがとうございました。

以上